

2019年9月発行

情熱

Vol.2



竹田 忠雄

代表取締役社長

(前編の続き)

を信じて疑わず、まっすぐに向き合うことを信念としてきた竹田忠雄社長。製造企業の社長として抱く「ものづくり」に対する思い、これからの竹田重工所への願いについて聞きました。

社長就任から今日までを振り返って、どんなことを感じますか。

本当に人に恵まれてきました。その一言に尽きます。バブル崩壊やリーマン・ショックなど大変な時期もありましたが、良い経験がたくさんさせていただき、楽しかったです。2016年には塗装に特化した子会社を立ち上げ、なんとか経営を軌道に乗せることもできて一安心しています。もちろん本業あつての子会社なので、竹田重工所の事業を一番大切に、これから頑張っていきたいです。

今後の展望をお聞かせください。

10年近く先の話になるとは思いますが、息子が会社を継いでくれるつもりでいるそうです。これは嬉しいですね。将来社長となった息子を支え、ともに歩んでくれるような人材を、今のうちからしっかり育てていきたいと思っています。会社は、社長がいるだけでは成り立ちません。優秀な従業員がいてこそ、会社は存続していけるのですから。これまで培ってきた知識や技術を、若い世代に引き継いでいきたいですね。引退に向け、残された日々で会社のために何ができるかを毎日考えています。

これからの竹田重工所に必要なのは、どのような人材だとお考えですか。

てきた竹田社長。周囲への信頼と感謝、そしてものづくりへの熱い思いを胸に、これからも竹田重工所をさらなる高みへと導いていくことでしょう。

従業員みなさんに望むことはありますか。

社内のコミュニケーションを活性化してほしいです。一人ひとりが周囲を気にかけて、密にコミュニケーションをとることができれば、仕事の効率も上がるのではないのでしょうか。そうすることで、働きやすい職場環境が生まれるとも思います。

僕自身も、みなさんの個性をしっかりと把握して、それぞれの良いところをさらに伸ばせるような環境を整えていきたいです。竹田重工所を、みなさんが長く勤められるような会社にしたいので、ご協力いただければ嬉しいです。

父から受け継いだ竹田重工所を、社長として今日まで守り続け

「ものづくり」に対する情熱を持った人です。「鉄は熱いうちに打て」という言葉がありますが、我々が日々行っているのはまさに、冷たい鉄に熱を加えて加工する仕事です。そんな仕事に携わるからには、熱い気持ちと誇りを持って働き、魂を込めて一つひとつの仕事に打ち込んでほしいです。ものづくりへの情熱がなければ、良い製品は絶対に生まれません。情熱を持つてものづくりに取り組むからこそ、キラリと光る製品ができるのだと僕は思います。そしてそれが、同業他社との差別化にもつながるのではないのでしょうか。

そのような人材を確保し、育てるためには、何をすれば良いと思われませんか。

よりも残念なのは、反応が返ってこないことです。現場で働くみなさんの声を、ぜひ聞かせてください。

ものづくりに関して、僕は従業員ともっと意見を交わしたいと思っています。ですから疑問や要望、提案があれば、どんな声も上げてほしい。僕の考えに対する反論も、もちろん大歓迎です。何



部署紹介コーナー

製造課 溶接グループ
塗装・出荷グループ

品質保証課

知っているようで知らない？
こんな部署やあんな部署につ
いて紹介しちゃいます！前回
に引き続き今号は、製造部の
2グループと品質保証課のご
紹介！

製造課 溶接グループ



仕事内容 本格的に溶接する仕事

- ・組立されたものを溶接（鉄、ステンレス、メッキなど）
- ・炭酸ガスで機械作業するので、半自動です
- ・職人による手溶接
- ・特殊な金属の溶接
- ・板厚 50 ミリ程度の突合せ、隅肉溶接
- ・この過程で各部分が完成します

品質保証課

仕事内容 全過程で検査をする仕事

- ・各工程の検査
- ・溶接部外観検査 製品、寸法検査 塗装外観検査
- ・クライアントから要望を頂いた場合は、UT 検査（超音波深傷検査）、PT 検査（浸透深傷検査）をします。※要資格
- ・溶接部内部欠陥の検査
- ・クライアントとの立ち会い検査 一番目立つところです
- ・書類の作成業務
- ・工程写真管理

製造課 塗装・出荷グループ

仕事内容 塗装指示を現場に出す仕事 完成品を出荷する準備の仕事

- ・下請け業者の塗装工の管理
- ・メーカーに指示する図面の色を調合
- ・ショット加工 表面プラスト処理
- ・積み込み出荷 管理
- ・出荷先が海の近くの工場も多いので、塩害対策として特別な塗装技術を施します
- ・黒皮除去、一次加工との連携も重要です
- ・塗装法によっては、下請け工場への運搬手配の管理も行います



新入社員紹介

新しく当社の仲間に加わった
3名をご紹介します！
ぜひ、皆さんとの仲を深める
きっかけにしてください！

1. 入社してから驚いたこと、ギャップを感じたことはありますか？
2. ちょっとびり成長を感じたことを教えてください！
3. これからの意気込みや実現したいことなどを教えてください！

製造課 よしかわ ちか
吉川 智賀さん

1. 職人さんの仕事と休憩中の雰囲気の違い。メリハリがすごい！
2. 上司から頂いた指示や言葉を理解できるようになりました。
3. もっといろいろな仕事を覚えたいです！

製造課 はら もとひで
原 基英さん

1. 終業時間（残業時間）の大体の予想がつくこと。
2. 通勤時の渋滞になれたかな？（笑）
3. 図面を読み取れるようになりたいです！

製造課 もりた くにひろ
森田 邦広さん

1. 仕事が忙しいときとそうでないときが極端に違うこと。
2. 自分自身、成長したとは全く思えていません……。
3. とりあえず仕事を早く覚えて、1日でも長く勤められるように頑張ります。1日1日、目の前のことをこなしたいと思います。



集中力アップの方法



1 時間割を作ろう！



「持続的に集中力を高める」ためのポイントは、仕事を「量」ではなく「時間」で区切ること！
人間の集中力には限界があります。そこで、適切なタイミングでこまめな休憩をとることが大切なのです。あらかじめ休憩時間を設定しておき、時間が来たら作業が途中で一旦ストップ。一息ついたら、気持ちを切り替えてタスクに取り掛かる、という風にコマ単位で仕事を進めてみましょう！学生時代の時間割のようなイメージですね。

2 たったの15分!?

仕事や勉強に対する集中力の持続時間は、およそ45分間と言われています。これは小学校の授業1コマとだいたい同じ長さですね。
実は人間の集中力の波は15分周期とされており、このサイクルの中でピークが来ると言われています。こうして集中力の高まりと弱まりを3回ほど繰り返して、45分間で集中が途切れるということなのです。

3 ベストな休憩のタイミングとは？

どんな人でも約15分が経過すると集中力が低下してきます。しかし、この集中力が切れそうなタイミングを乗り越え、30分、45分と集中力を持続させることが可能になります。「集中力の限界は90分間」と言われることもありますが、これは実際にはかなりハードルが高いと思って良いでしょう。
一般的には、高い集中力を保って作業を続けられる限界時間は45分間が目安と考えられます。

4 脳が悲鳴を上げる前に

ここでいう「限界」とは、脳が「つらい」と感じ始めるタイミングを指します。つまりつらい作業を続けていると、集中力は自然と低下しやすくなるのです。
たとえば一度「勉強はつらい」と脳にインプットさせてしまうと、その後も勉強をするときに集中力が持続しにくくなってしまいます。これを防ぐために、作業にあたる際は、脳が「つらい」と感じる前に適宜休憩を取ることが大切なのです。
そこで、45分おきに短い休憩をとるようにするとい良いでしょう。もし、45分間集中力が続かないようなら30分集中した後でもOKです。コツは、「つらく感じる前」に休憩をとることです。また、休憩中の過ごし方を一工夫するのもおすすめ。甘いものを食べるなどしてブドウ糖を摂取し、頭をリフレッシュさせましょう。

